

## タクシー補助制度の見直しは



櫻谷 千重子 議員

**質 櫻谷議員**  
80歳以上の方々にタクシ―補助制度を設けているが、80歳を迎えなくても、要支援者や介護支援者の方々にタクシ―補助制度の手を差し伸べてはどうか。  
また、自動車運転免許を返納された方へも、今後対象の枠を拡げてはどうか。

事業所における通院の送迎サービスを利用していたきたい。免許の自主返納者については、交通事故防止の観点からもタクシ―補助制度の対象者とすることは前向きに検討したい。  
現在80歳を75歳、あるいは70歳まで引き下げること、要支援の方もカバーできるのではないかと考えている。



**答 福井町長**  
タクシ―利用助成制度事業については、助成制度を理解されていない方もいると思うので、周知徹底を図りたい。  
介護認定者は、訪問介護

## 乳がん早期発見に向けて

**質 櫻谷議員**  
女性の11人に1人が生涯で罹患する乳がん。近年マンモグラフィ―検査だけでは、異常が発見しにくいタイプの乳がんがあることがわかった。

乳がんには4つのタイプがあるが、高度乳房と呼ばれるものには、マンモグラフィ―では、全体が白く写る腫瘍が発見しにくい。つまり、マンモグラフィ―だけでは、しこりが見えないということ。

**答 福井町長**  
乳がん検診は、年2回の集団検診と個人検診で、マンモグラフィ―を実施している。エコー検査を実施している市町村は70ある。マンモグラフィ―の弱点を補うと期待されているのが超音波。東北大の検査では、超音波を兼用した場合、マンモ単独よりも、がん発見率が1・5倍になったとある。  
家族に乳がんがいるなどで、発症リスクの高い人などに、これからの定期健診に選択メニューを拡げては

どうか。  
「早期発見・早期治療」の大切さを伝えるピンクリボン運動等の啓発活動などは、牟岐町ではできているのか。

**質 久岡健康生活課長**  
乳がんに関しての相談の中ですすめたり、通知に広報を同封する等はしているが、積極的な広報はできていない。  
今後、啓発の部分については、対応していきたいと考えている。  
マンモグラフィ―とエコー検査の兼用が1・5倍の発見率になるので、今後、検討したい。



※マンモグラフィ―

乳がんを診断するため、乳房をレントゲン撮影する検査。乳房を装置に挟んで圧迫して撮影することで、乳房の中を細かく調べることができる。